

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
素描	選択	2	3	普通科

科目の概要	素描活動を通じ、主題を生成し、表現形式や目的や機能などの特性に応じた構想を練り、創造的に表す個性豊かな表現活動の可能性を広げる。 素描制作はもとより、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方感じ方をより深める鑑賞活動も行う。			
教材名	教科書			
	副教材			
担当者	水 本 タ 佳			
学習到達目標	素描（美術の創造）活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身につける。 知識及び技能に関する目標 色や形などの働きや、全体のイメージや作風、様式などでとらえることなど、造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。 思考力判断力表現力に関する目標 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて多様な視点から考え、主題を生成し創造的に発想し個性豊かに構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方感じ方を深めたりすることができる。 学びに向かう力に関する目標 主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につける。			
学習方法	表現と鑑賞の活動を行う。探究的に制作し、鑑賞するなど、表現と鑑賞を関連付けて行う。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価基準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	作品 ワークシート	作品 ワークシート	取り組みの姿勢
	A	○対象や事象をとらえる造形的な視点についてより深く理解することができる。 ○意図に応じて表現方法を工夫し、より創造的に表すことができる。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて深く考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方をより深めることができる。	○より主体的に美術の幅広い創造活動に取り組むことができる。 ○美術を愛好する心情を強く持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を持つことができる。
	B	○対象や事象をとらえる造形的な視点について理解することができる。 ○意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表すことができる。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組むことができる。 ○美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を持つことができる。
	C	上記が不十分な場合	上記が不十分な場合	上記が不十分な場合

年 間 学 習 計 画

科目名 [素描]

月	領域	章・単元	学習内容・目標等	時数	評価方法
4	鑑	オリエンテーション 既習事項の確認	・1年間の学習の内容を確認する ・必修美術Ⅰの学習内容を確認する	1	観察
	表	素描1 空間の把握	・基本的な立体や空間を理解する ・幾何形体の素描	2	作品
	鑑	デザインとは	・デザイン全般における素描を鑑賞する	1	感想
	表	素描2 構造の理解	・構造捉える ・明暗を使って立体感を描く	2	作品
5	鑑	日本の美術	・日本の美術における素描を鑑賞する	1	感想
	表	素描3 人体の構造	・人体の構造を捉える ・骨格や筋肉の構造、動勢を意識して描く	2	作品
	鑑	プロダクトデザイン	・プロダクトデザインにおける素描を鑑賞する	1	感想
	表	素描4 質感を捉える	・静物を観察する ・質感を丁寧に捉えて描写する	2	作品
6	表	素描5 精密写生	・静物を観察する ・個々の構造、複数の関係や空間、質感を描写する	4	作品
	表	素描6	・モチーフを構成する ・構成したモチーフを描く	4	作品
7 12	鑑	合評会	・作品を鑑賞する	1	感想
	表	素描研究	・時間をかけて丁寧に観察し描写する	38	作品
1	鑑	1年間のまとめ	・1年間の学習を振り返る	1	感想